

# 宇宙意識への接近 1986年 春秋社

河合 隼雄 (かわい はやお)

ユング研究所よりユング派精神分析医の資格を取得、京都大学教育学部教授、臨床心理学。

吉福 伸逸 (よしふく しんいち)

カリフォルニア大学バークレー校で学ぶ翻訳家。

1985年第9回トランスパーソナル国際会議(京都)における発表からの抜粋である。

1969年にトランスパーソナル心理学会が心理学の学会として設立された。ところがその理念に賛同して物理学者、生物学者、哲学者、宗教学者、人類学者、それに各分野の芸術家など専門を異にする人々が続々と参加し、極めて広く包括的な会にする必要が生じて、国際トランスパーソナル学会となった。

トランスパーソナル、つまり個人を超えるとはどういうことであろうか。これは端的には「自我を超える」ことと考えられる。

「自我を超える」意識においては自我意識によって截然と区別されていた心と体、自と他などの境界も超えることになって、これまで「非科学的」として無視されていた神秘体験、超越性、いわゆる宇宙意識などが研究の対象として取り上げられるようになった。つまり、西洋近代の自我を超えて意識状態の広大な領域を経験し、それによって現実の認識を行なおうとするようになった。

## 1. スペースオデッセイ

ラッセル・L・シュワイカート

マサチューセッツ工科大学卒、アポロ9号宇宙飛行士

## 2. 知覚と人工知能

フランシスコ・J・ヴァレラ

ハーバード大学卒、生物学博士、エコール・ポリテクニック教授

## 3. 個人意識：精神の役割と社会的危機

ジョン・ワイヤー・ベリー

ハーバード大学卒、医学博士、ユング研究所(サンフランシスコ)

## 4. 都市と分析：東の目で

樋口和彦

同志社大学神学部卒、神学博士、ユング研究所留学、同志社大学神学部教授

## 5. 伝統と技術の変遷に関する個別体験

ドーラ・カルフ

カール・ユングに心理学を学ぶ。ユング心理学の重要な精神療法「サンドプレイ」を開発。

6. 伝統の中に永久不変の価値があるか

ドム・ヘルダー・カマラ

ブラジルのレッシフェとオリンダの元大司教

7. 癒しに対するアフリカの貢献

ウズマズール・クレード・ムトウワ

南アフリカ共和国のアフリカ文化美術館の館長

8. 死：成長の最終ステージ

エリザベス・キュブラー・ロス

チューリッヒ大学卒医学博士、死ぬ瞬間の受容の仕方の研究

9. 意識の研究と人類の生存

スタニスラフ・グロフ

エサレン・インスティチュートの研究員、LSDを使った臨床研究

10. 過去の未来

玉城康四郎

東京大学文学部卒、名誉教授、インド哲学研究

11. 太平洋に向けての転換

ウィリアム・アーウィン・トンプソン

コーネル大学卒、哲学博士、リンディスファーンの名誉会員